

# 流域情報マップ

4回までの 市民意見交換会で出された情報、評価  
(内容は参加者から寄せられた意見です)

- 庄内川・土岐川のじまんの名所・景勝地
- よい所、残したい所
- 課題と思われる所
- ★ 市民活動拠点
- 歴史的な場所



松並木

虎溪山・永保寺わき(竜浮淵/りょうぶえん)



虎溪山・永保寺わき  
山を背景に川が蛇行し、岸边には特有な岩肌が見られる風光明媚な場所。永保寺本殿は国宝で、庭も有名。

和合橋  
川幅が狭く上流が浸水しやすかったが、工事により広げた。

浅野緑地  
国の護岸等の整備工事に伴い、多自然川づくりの整備を行っている。

神明橋、永久橋  
国の災害対策事業として橋桁を上げる工事中。

化石掘りのできる河原  
化石館の体験フィールド。

白狐温泉  
豊かな緑を背景に、岩や淵がつくられる渓谷美と変化のある流れが楽しめる。



白狐温泉

タ立山  
タ立山(源流)

堤防道路により川に近づけない  
下流域、矢田川などの堤防のかなりの部分が道路であり、大型車両がスピードをあげて通るので、危なくて川に近づくことができない。

弁天池  
庄内川から虎溪用水で水を引き、この池で3つの用水に分けていた。

古虎溪・天ヶ橋  
渓谷美により名所となった場所。赤い橋が映える。

ネズミ岩  
昔は大岩があって、子どもの遊び拠点だった。今は割れて分散している。

国長橋～陶都橋の護岸  
護岸整備がされ遊歩道ができたが自然度が低い。左岸の桜並木は残った。

小里川  
流量が豊富。上流に陶器工場があり、現在も白い排水を流すことがある。

小里川ダム  
観光地化の計画があるが、水質悪化が心配。

「水辺の楽校」事業  
隣接する学校や漁協等が参加し、体験プログラムを実施。今後、親水護岸や魚道の整備などが予定されている。

## 市民意見交換会 今後の進め方

今後はテーマ別のグループで、提案づくりに取り組み予定です。

### 多様な生態系を育む環境、きれいな川をつくらう

- ・豊かな生き物環境をつくる。
- ・ゴミをなくし、水質を改善する。

### 土岐川庄内川の原風景、歴史資源、用水をいかそう

- ・ふるさとの川の風景を大事にする。
- ・歴史資源を活かす。
- ・用水の再生・活用を考える。
- ・土岐川特有の川の恵みを活かす。

### 豊かな川体験を伝えたい、憩いの場をつくりたい

- ・豊かな思い出をつくる川(川と人の関わり)の豊かさをとり戻す。
- ・遊歩道や施設の整備を考える。

### 流域全体、地域参加で治水・防災を考えよう

- ・流域全体で治水をとらえる。
- ・治水・防災への参画協働の推進。



定光寺

定光寺・城嶺橋  
渓谷美により名所となった場所。灯籠のある高欄に特徴。



★ 多治見市 土岐川観察館  
多治見市が、土岐川のビジターセンターとして設置。市民団体が運営に関わり、活動拠点にもなっている。年間を通じ、多彩な体験プログラムを実施。

## 2回の川歩きで、流域全体が見えてきました。

2回の川歩きでは、のべ51名の参加者が、グループに分かれて流域全体を見て歩きました。感想としては、「上流、下流の市民が、知らない川の姿を見ることができた」「お互いの課題を知ることができた」「知らない同士がグループになって話ができてよかった」など、視野が広がったという意見が多かったようです。今後も、まだ見えていないところ、テーマ別に掘り下げて見たいところなど、積極的に歩きたいと話合っています。

魚道をみんなで点検(神明上条用水堰)



ヨシ原(下流域)  
利用されなくなり保全が困難に。防災、水質、生態系などへの影響が心配。

才井戸流(さいどながれ)  
湧き水が流れる水路。湿地帯や樹林が残る。周辺の区画整理事業により環境が悪化している。

黒川(堀川)  
都市の水辺づくりに向け、水量増加の要望が高まっている。

庄内用水  
通水停止時の魚溜まりの機能が課題。

西枇杷島  
東海豪雨で浸水。護岸や防災拠点を整備中。

横井山緑地  
桜の名所。

松並木(左岸)  
樹齢100年～200年の松62本。保存の声が多いが、交通量、堤防補強との調整が課題。

藤前干潟  
全国有数の渡り鳥の飛来地(特別保護区)。ヨシ原のゴミが課題。